

-----4月8日-----

※ 今週のアウトルック (4/8~4/12)

先週は米国雇用統計の結果が注目される中、週初からリスクオフ的な動きとなりましたが、日銀の追加緩和策が発表されると、一気に円安が進みました。

米国雇用統計の結果は、期待されたような良い数字ではなかったのですが、日銀の追加緩和策の効果に対する期待の方が大きく、円安が一段進行して、週末を迎えています。

今週は、このムードを継続して更なる円安が進むのか、一度利益確定が優先となるのか、まずは週初の動きに注目したいところです。

ドル円は先週、米国雇用統計があまりよくない結果の中、日銀の追加緩和策に後押しされて、97円のレジスタンスを超えて終了しました。

今週は、一度利益確定が先行する可能性が、幾分強いようにも思いますが、大きく円高にふれてしまう可能性は少ないように思います。

ドル円の予想レンジは95円から99円です。

ユーロは、各国の失業率が悪化する中、不安要素が拡大しているようです。ユーロドルなども自律反発的な買い戻しは入るものの、積極的に上値を追う展開にはなかなかなりにくいように思います。

ユーロ円も円安要素は強いものの、130円を大きく超える円安は、しばらくの間は、難しいように思います。

ユーロ円の予想レンジは123円から129円です。

ポンドは、円安ムードにうまく乗った感じはありますが、150円から155円あたりまでのレジスタンスを超えていくには、しばらく時間がかかるように思います。

ポンド円の予想レンジは144円から152円です。

今週は更なる円安進行が期待される中、利益確定売りにどの程度引き戻されるか、

注意しながらの展開となりそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。